

## 不信具足



新井俊一

『教行証文類』に親鸞聖人は『信不具足』について語っています。信心は如来のお心が私にとどいたものですから、深い信心も浅い信心もないはずですが、現実には浄土真宗の信者方の中には、教えに深く帰依しておられる方もありますし、そうでない方もおられます。この違いはどこから起こるのでしょうか。『信不具足』についての文は以下の通りです。



信に二種あり。一つには聞より生ず、二つには思より生ず。この人の信心、聞よりして生じて、思より生ぜず。このゆゑに名づけて信不具足とす。また二種あり。一つには道ありと信ず、二つには得者を信ず。この人の信心、ただ道ありと信じて、すべて得道の人ありと信ぜざらん。これを名づけて信不具足とす。

(『教行証文類』「信巻」。  
『浄土真宗聖典(註釈版)』p. 237)

「この人の信心、聞よりして生じて、思より生ぜず。このゆゑに名づけて信不具足とす」というのは、信心についての説明を聞いてそれを真実だと受け入れはするけれども、その信心が阿弥陀如来の誓いから出たものであり、阿弥陀如来の誓いは罪惡深重・煩惱熾盛の凡夫を救おうとするものであり、その凡夫とは自分だということを深く考えないことを言います。教えを聞いてもそれを自分の生き様に照らして、いかに教えが的確に自分のことをいっているかを考えなければ、それは不十分な信心だということです。

『教行証文類』の総序に「誠なるかな、攝取不捨の真言、超世希有の正法、聞思して遅慮する事なかれ」という文があります。言い換えると、「仏の教えを聞いて、教えに照らしながら自分の有様をよく考えてみなさい。そうすれば

### 4月の予定

- 3日 10時 家族法要
- 11時 日本語プログラム
- 8日 5時半 地震・津波  
死亡者追悼法要
- 9日 日本語聞法セミナー  
羽田信生先生
- 10日 10時 花祭り法要
- 11時半 花祭りランチ
- 15日 5時半 地震・津波  
死亡者追悼法要
- 17日 10時 アースデイ法要
- 11時 日本語プログラム
- 22日 5時半 地震・津波  
死亡者追悼法要
- 24日 10時 家族法要
- 11時 日本語プログラム
- 29日 5時半 地震・津波  
死亡者追悼法要

教えの正しさが分かるでしょう。一旦分かったら、ぐずぐずしないで仏の教えを自分のいのちの拠り所としなさい」という意味でしょう。信心というのは仏法の真実性に目覚めることですが、その真実とは、自分の肉体的、精神的、心理的、そして霊的な活動と分離しているのではないのです。

「信不具足」についての引用文の中の「この人の信心、ただ道ありと信じて、すべて得道の人ありと信ぜざらん。これを名づけて信不具足とす」というのは、仏道の説明を聞いて、頭ではそれが正しいと思っていても、実際に仏道を歩んでいる人、仏道を歩いて成就した人がいることを信じない人——そういう人を「信不具足」つまり不十分な信心の人というわけです。仏道といっても私たちの生活を離れてあるわけではありません。一日一日、刻一刻の私たちの行為や考えや感じがすべて仏道なのです。得道の人というのは、実際に仏道を歩いて（念仏の生活をして）ひたすら浄土を目指している人、さらには、実際に仏道を歩いた結果、今仏になっておられる人という意味だと考えられます。

覚りというのは停滞した知識ではなくて、動く生活そのものとともにあります。信心は如来のお心が私にとどいたものですから、信心の人は如来の覚りを体現している人でしょう。ここで間違っただけとはいけないことは、信心の人が覚りを開いた人だ、ということではありません。私たちは生きている限り、様々な煩惱の支配を受けます。覚りというのは煩惱を克服した人ですから、生きたまま仏になるということは期待できません。しかし私たちの中に煩惱が荒れ狂っていて、如来の働きを忘れていても、如来は私たちを忘れてたり捨てたりなさらないのです。もし信心の人がいることを信じなければ、その人は本願の働きに疑いを持っていることになります。だから「信不具足」というのです。

『歎異抄』第二章は信心の人・親鸞と、如来の本願に疑いを持っている人との対話です。念仏以外に往生できる方法があるのではないかと、思っている人は、師である親鸞聖人を疑っているのであり、ひいては本願を建てられた阿弥陀如来を疑っていることになります。一方、親鸞聖人は、得道の人・法然聖人、ひいては阿弥陀の本願への完全な帰依を語っています。これが誠の信心の姿です。

新井先生に許可を頂き転載させて頂きました。  
先生の略歴：相愛大学名誉教授、文学博士（ハワイ大学）、浄土真宗本願寺派教師。

## 27 円転滑脱

沼田智秀著「いつくしみ」百八つのねがい より



夏目漱石の「我輩は猫である」の中にも「円転滑脱の鈴木君」という文がありますが、「円転滑脱」とは自由になめらかに進行することで、臨機応変、自由自在ということなのです。

私たちが、本当に願っているものも、このような生き方ではないでしょうか。小さなことにこだわり、小さなことに執らわれて、一喜一憂しながら、泣いたり笑ったり、腹を立てたり、グチったりしながら来る日も来る日も空しく過ごしている私たち。人生、円転滑脱に生きられればどれほど一日一日が、楽しいことでしょうか。

京都女子大学の創設者である甲斐和里子先生は、  
岩もあり、木の根もあれど、さらさらと、

たださらさらと、水の流るる  
とうたわれています。

人生が、何のこだわりもなく、文字通り、自由になめらかに進行すれば、どれほど素晴らしいことでしょうか。

仏教の理想も、すべての執えあわれから解脱し、自在を得るところにあるのです。

### 会長の挨拶

日本の災害について皆様もいろいろと聞いたり話し合われたりしたことでしょう。私たちのお寺では会員およびスタッフの機敏な反応で地震・津波で亡くなった方々の初七日法要を営みました。この法要は一週間で用意され、一般へ開かれました。関係者に感謝いたします、ラバーン、アラン、カストロ輪番、ワーリック先生、アイリーン、エド、マス、リン、アンマリー、ジョーン、ポーリン。法要は4月29日まで毎週金曜日、5時半より営まれます。

合掌、森ポール

### キャンプファイアー

キャンディーセール、今年もメンバー、父兄、後援者のおかげで大成功に終わりました。5801ユニットを売りました。

### ダーマスクール

別院会員、家族の方々を花祭りランチにご招待いたします。4月10日ジムにて。ランチは花祭り法要、ダーマスクール、日本語法要の後です。ダーマスクールが食事を作り無料です。お釈迦様の誕生日を皆でお祝いしましょう。

### 日本語法要・プログラム予定

- 4月 3日 ビデオ法話・泉康雄師 「朝露」
- 4月 9日 **毎田仏教センター所長 羽田信生先生の日本語セミナー**  
「真宗の確信」10時—4時 係り—中野順子
- 4月10日 羽田信生先生のご法話
- 4月17日 ビデオ鑑賞 #1
- 4月24日 ビデオ鑑賞 #2
- 5月 1日 ビデオ鑑賞 #3
- 5月 7日 浄土真宗センター英語通信教育主任の桑原浄信先生の日本語セミナー  
テーマ未定 1時半—5時
- 5月 8日 桑原先生のご法話



### 東日本大震災 死亡者追悼法要

- 4月 8日(金) 5時半
- 4月15日(金) 5時半
- 4月22日(金) 5時半
- 4月29日(金) 5時半

# 婦人会便り

## 会長のメッセージ

八幡静江



- いつものように婦人会のご婦人方は色々の行事に追われました。
- 2011年3月18日（金）に、馬場ジャネット、富田ナйна、ヴァート ミチ、新宅フランの方々が肉の入ったマカロニとチーズ、野菜サラダ、そしてガーリックブレッドの食事を準備、調理をし、Orion Multi Service Center にて若人達に接待をしました。
  - 来たる2011年5月1日に執行される新入会員就任式、並びに昼食会の準備計画を馬場ジャネットと和田真知子の指導の下に婦人会は着々と進めております。
  - 2011年3月30日（水）に1月、2月、3月当番ご婦人方が別院台所を整頓清掃をして下さいました。坂本ケリーのご援助に感謝します。

## 婦人会活動

ラインダンサー方はダンスの時間を楽しんでおります。これからも4月6日と20日、午後1時から3時まで、別院会館にて2度のダンスクラスがあります。4月13日午前9時半から正午まで、別院階下にてお盆踊りの売品とする、ベルオーナメント作りのクラスがあります。興味の有るお方はオフィス前の掲示板に有る用紙に署名して下さい。

## 4月行事予定

- 3日（日）本堂に於いて婦人会理事会
- 6日（水）会館にてラインダンスのクラス
- 10日（日）6月25日のデセプションパス一日旅行のお支払い締め切り
- 13日（水）ベルオーナメント作りのクラス
- 20日（水）会館にてラインダンスのクラス
- 20日（水）新入会員昼食会の出席賛否の締め切り
- 24日（日）5月の為の婦人会理事会
- 5月 1日（日）婦人会新入会員就任式及び昼食会

通信書記（日） 新保悦提出

日本語版のイーメール・アドレス [Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com](mailto:Newsletter-jpn@seattlebetsuin.com)  
シアトル別院時報日本語面翻訳・編集 和田真知子



